

取扱説明書

埋込モジュラジャック

カテゴリ 6A 8極 8心

JEC-BN-LW6A シリーズ

お買い上げいただきありがとうございます。
製品を正しくご使用いただくために、
この取扱説明書をよくお読みください。

- 本製品のコンポーネント性能 (以下の㊥㊦)
規格による分類名称 (周波数帯域 500MHz まで)

規格	システム性能	コンポーネント性能
ISO 11801	クラス E _A	カテゴリ 6A … ㊥
ANSI/TIA-568.2-D	カテゴリ 6A	カテゴリ 6A … ㊦

●適用電線

カテゴリ 6A 対応 UTP ケーブル 4P (8心)

AWG22~26 単線または撚り線。絶縁体外径:最大φ1.52mm,
外径:φ 5.08mm~φ 8.38mm

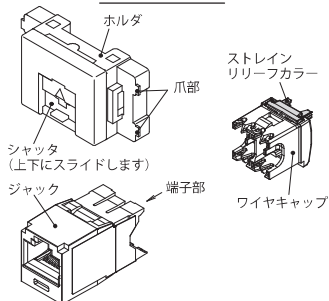
以下の場合、カテゴリ 6A 対応 UTP ケーブルは規定のシステム性能を満たさないおそれがありますので、お避けください。

- ・異なるメーカー品の近接使用
- ・下位カテゴリの UTP ケーブルとの近接使用

- カテゴリ 6A (クラス E_A) の配線システムでは 500MHz に及ぶ広帯域信号を扱う為、施工の良否が配線システムの伝送性能を大きく左右しますので、従来のカテゴリ 5e 配線システムより格段に厳しい管理を要します。

- 配線システムの伝送性能をカテゴリ 6A (クラス E_A) 規格に適合させる為には、システムを構成するすべての部材をカテゴリ 6A 適合とすることは勿論、配線長・ケーブル敷設方法・成端加工方法等の施工条件を厳格に守り、施工後は全ての回線について伝送性能の実測を行う必要があります。

構成部品と名称



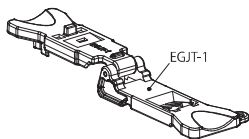
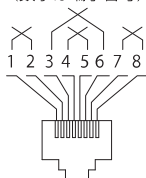
文字表示品はホルダに()内の文字が入ります。

JEC-BN-LW6AL (LAN)

使用上のご注意。

LAN用8極8心以外のモジュラプラグを差し込まないでください。モジュラジャックのコンタクトばねを変形させるおそれがあります。

モジュラジャック成端工具 (別売品)

ジャック前面
ピン配列
(数字は端子番号)

ワイヤキャップへの心線色配列 (ラベルのカラーコード参照)

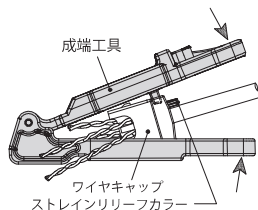
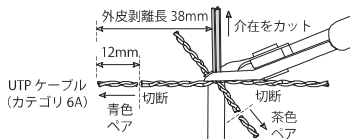
端子番号	T568 B	T568 A	ジャック側から見た図	T568 B	T568 A	端子番号
2	橙	緑		緑	橙	6
1	白/橙	白/緑		白/緑	白/橙	3
4	青			茶		8
5	白/青			白/茶		7

ラベル側

配列結線は、ケーブルの両端でT568AまたはT568Bのいずれかに統一してください。

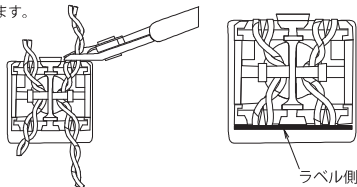
施工説明

- ① カテゴリ 6A 対応ケーブルの外皮を予め先端から 38mm 剥離し、4 対のペア線を十字に開きます。ケーブル中心の介在を根元から切断し、青色ペアと茶色ペアのみ、先端から 12mm カットします。



- ② 結線パターンに応じてペアごとに心線を分け、ラベル表示に従いワイヤキャップに通します。ケーブルをワイヤキャップの一番奥まで挿入し、成端工具を使用してストレインリリーフカラーを押し込み、ケーブルの外皮をしっかりと固定します。

- ③ 心線色配列を参照し、ワイヤキャップのスロットに心線をしっかりとセットし、余剰部分をワイヤキャップの端に沿って切り取ります。



- ④ ジャックにワイヤキャップをセットします。(ワイヤキャップの向きに注意)



- ⑤ 成端工具を使用してワイヤキャップをジャックに押し込む。(ジャック本体の位置及び工具の向きに注意)

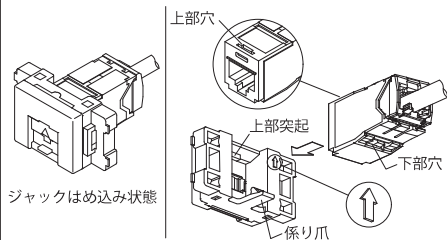


- ①～⑤ については、下記リンクも参照ください。

<https://www.jimbodenki.co.jp/manual/bnlw6a.html>

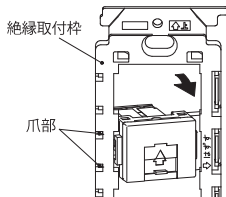


- ⑥ ホルダとジャックの向きを合わせ (ホルダに関しては裏面↑の方向が上面)、ホルダの上部突起と係り爪がジャック上・下部の穴にかかるように上下の順番ではめ込み固定します。



- ⑦ 絶縁取付枠にとりつけるときのご注意ください。

ホルダの爪部を絶縁取付枠「↓はずす」表示のない側に差し込んでから、器具を押し込みます。



絶縁取付枠は、この製品に含まれておりません。